



立教大学アジア地域研究所 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「21世紀海域学の創成」プロジェクト 公開シンポジウム

近世から近現代にいたる海域世界の社会統合 — 外来系住民と現地社会

東西海洋交通の要衝であったインド洋、南・東シナ海、太平洋には、来航者を受け入れ外部世界への窓口となる港市が、各地で発展を遂げた。港市は、諸海域を結びつけ広域ネットワークを形成するとともに、地域の結節点となり地元社会の構築にも寄与した。本シンポジウムでは、これらの港市が外来系住民や地元の人々を抱え込みながら、いかなる社会統合を展開したのか、その歴史的過程を考察し広域秩序や海域秩序さらに地域秩序の構築のされ方を検討する。合わせて、21世紀における港市の果たす役割についても展望する。

日時：2015年 4月 25日（土）10：30～17：00
場所：立教大学池袋キャンパス 太刀川記念館3階多目的ホール

入場無料
申込不要

< 午前の部 10:30 ~ 12:30 >

開会挨拶 弘末雅士（本学文学部教授）

報告 1 17 ~ 18 世紀インドにおけるアルメニア海洋商人と英国東インド会社：「1688 年協約」をめぐって

重松伸司（追手門学院大学オーストラリア・アジア研究所 所長）

報告 2 西カリマンタンの移民と社会変容

太田 淳（広島大学大学院文学研究科准教授）

報告 3 東インドにおけるヨーロッパ系住民と現地人妻妾：植民地体制下の婚姻をめぐって

弘末雅士（本学文学部教授）

< 午後の部 13:30 ~ 17:00 >

報告 4 東インドにおけるアラブ系住民と社会統合：インドネシア・アラブ人協会によるイスラーム主義とナショナリズムの融合

山口元樹（日本学術振興会特別研究員 PD）

報告 5 オセアニアにおける Beachcombers

豊田由貴夫（本学観光学部教授）

報告 6 タイとマレーシアにおける華人と宗親総会

吉原和男（アジア地域研究所特任研究員）

報告 7 東南アジアにおけるアフリカ系移住者

栗田和明（本学文学部教授）

パネルディスカッション モデレーター 竹中千春（本学法学部教授）

閉会挨拶 上田 信（本学文学部教授・アジア地域研究所 所長）

International Workshop

The Maritime Order and Social Integration in Southeast Asia

A map of Southeast Asia and surrounding regions, including India, China, Myanmar, Laos, Vietnam, Cambodia, Thailand, Malaysia, Brunei, Singapore, Indonesia, and the Philippines. Major cities like Yangon, Vientiane, Hanoi, Guangzhou, Hong Kong, Taipei, Bangkok, Phnom Penh, Ho Chi Minh, Kuala Lumpur, and Jakarta are marked. The map is overlaid with text for an international workshop.

Venue: Chinese Heritage Centre Auditorium

Co-organized by:

Japan, Rikkyo University - Centre for Asian Area Studies

Singapore, Nanyang Technological University
- Chinese Heritage Centre
- School of Humanities and Social Sciences

Supported by:

Singapore - Japan Creative Centre
- Embassy of Japan in Singapore

Malaysia - Japan Foundation Kuala Lumpur Office



東アジアや東南アジア地域であらゆる形の交易によってヒト・モノが循環していた16世紀17世紀のアジアの海の世界を舞台に、東南アジアと中国南部、そして日本を含むアジア世界の姿を貿易陶磁と歴史史料の双方の研究者達からそれぞれの視点で見えていくことで、マルチ・ディシプリナリーな歴史の構築を図ることを目的とする。

貿易陶磁と文献史料から 東アジア・東南アジアの歴史を考える

— 16世紀・17世紀を中心とした海域におけるヒト・モノの流れ

■午前の部 (10:00 ~ 12:10)

趣旨説明 弘末雅士 (本学文学部教授、アジア地域研究所所員)

報告1 坂井隆 (国立臺灣大学芸術史研究所 副教授)

「台湾出土の中国陶磁器からみる中国南部と東南アジアとの交易関係」

報告2 金沢陽 (出光美術館 学芸員)

「東シナ海における16～17世紀における沈没船と中国陶磁器」

■午後の部 (13:00 ~ 17:00)

報告3 宮田絵津子 (立教大学アジア地域研究所 特任研究員)

「マカオ出土の中国陶磁：マカオ - マニラ - アカプルコへのつながり」

報告4 久礼克季 (立教大学アジア地域研究所 特任研究員)

「台湾鄭氏 - 中国南部 - 東南アジアを結ぶ諸条件とオランダ東インド会社」

報告5 伊川健二 (本学兼任講師、成城大学非常勤講師)

「ルソン壺交易と日比通交」

総合討論 モデレーター：弘末雅士 (本学文学部教授、アジア地域研究所所員)

閉会の挨拶 上田信 (本学文学部教授、アジア地域研究所所長)

日時：2015年 11月 14日 (土) 10:00~17:00

場所：立教大学池袋キャンパス 太刀川記念館3階多目的ホール

入場無料
申込不要

国際シンポジウム

ASIAcenter
 JAPAN FOUNDATION

21世紀アジアをめぐる海の国際政治

– インド洋・ベンガル湾・南シナ海・東シナ海・太平洋 –

2015年12月12日(土) 10:00-18:00

立教大学池袋キャンパス 14号館5階 D501

 (<http://www.rikkyo.ac.jp/access/>)

アジアの国際政治は激しく変動している。科学技術や市場経済のグローバルな展開の中で、国民国家や国際秩序のあり方も変容し、自然環境の持つ意味も変化し続けている。中国の台頭、インドの成長、ASEANの進化、東アジアの国際的な緊張などを考えながら、このシンポジウムでは「海」に焦点を置き、21世紀のアジアにおける国際関係を分析し、展望する。

* 日本語・英語同時通訳あり*

◆プログラム◆

- 10:00-10:05 開会の言葉 **上田 信** (立教大学文学部教授)
- 10:05-10:15 問題提起 **竹中 千春** (立教大学法学部教授)
- 10:15-12:30 第1セッション：21世紀のインド洋をめぐる海の国際政治
 司会 **中溝 和弥** (京都大学大学院アジア・アフリカ研究科准教授)
 報告者 **堀本 武功** (放送大学客員教授)
ルパック・ボラー (台湾国立中興大学招聘研究員)
竹内 幸史 (立教大学アジア地域研究所特任研究員)
 討論者 **竹中 千春** (立教大学法学部教授)
- 12:30-13:30 昼食休憩 (キャンパス内外にコンビニエンスストアやお店があります)
- 13:30-15:45 第2セッション：21世紀の東アジア・太平洋をめぐる海の国際政治
 司会 **竹中 千春** (立教大学法学部教授)
 報告者 **プルネンドラ・ジェイン** (アデレード大学教授)
藤原 帰一 (東京大学大学院法学政治学研究科教授)
高原 明生 (東京大学大学院法学政治学研究科教授)
 討論者 **劉傑** (早稲田大学大学院社会科学研究科教授)
- 15:45-16:00 休憩
- 16:00-17:45 第3セッション：21世紀アジアのグローバル・シティから見た海の国際政治
 司会 **倉田 徹** (立教大学法学部准教授)
 報告者 **HENG, Yee Kuang** (国立シンガポール大学リークアンユー公共政策研究科准教授)
沈 旭暉 (香港中文大学社会科学院副教授)
 討論者 **田村 慶子** (北九州市立大学法学部教授)
- 17:45-18:00 閉会の言葉 **竹中 千春** (立教大学法学部教授)

【申し込み方法】参加ご希望の方は、事前にメールでお申込ください。
 「12/12 国際シンポジウム参加希望」を件名として、①お名前(フリガナ)②ご所属を明記の上、
 welcomerikkyo2015@gmail.com 宛て、2015年12月10日(木)までにお送りください。会場の座席数に
 限りがあるため、先着100名様とさせていただきます。
 お問い合わせの場合は、件名に「問合せ」と書いて、上記メールアドレスにお送りください。

主催：立教大学アジア地域研究所平成25-27年度私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「21世紀海域学の創成—「南洋」から東シナ海・インド洋・太平洋の現代的ビジョンへ—」

国際交流基金2015年度アジア・文化創造協働助成プログラム「インド・太平洋時代のアジア新秩序：日本・ASEAN・オーストラリア・インドにおけるアジア研究の知的協働」

協力：日本学術振興会 科学研究費補助金基盤研究(A)2014-2016年度「中国・インド大国化とアジア—内政変動と外交変容の交錯」